広報 きしわた 広報 きしわた 2024.4

特集 令和12年度のリニューアルオープンを目指して

愛される城を残すために

岸和田城天守は昭和29年に再建され、今年で再建70周年を迎えます。文化財と して重要であるとともに、市民に愛される存在ですが、岸和田城は今、耐震面などで 危機に瀕しています。

今号では、まちのシンボルを守り、後世に残すためのリニューアルオープンに向け た取り組みなどを紹介します。

問合 観光課☎ 072 - 423 - 9486 ℻ 072 - 423 - 2384



教えて!岸和田城の歴史

1597 慶長2年

豊臣秀吉の叔父である、 小出秀政が天守を築く

1827 文政 10年 落雷により焼失

1954 昭和 29年

再建し図書館として利用

1976 昭和 51年 歴史的資料を展示





岸和田城がピンチ!

岸和田城のいま

展示スペースには、府指定有形文化財である平安時代後期 に作られたと伝わる「阿弥陀如来坐像」(写真①)や岡部家藩 主が着用した甲冑「紫糸威伊予札四枚胴具足」(写真②)など を展示しています。また、天守からの眺望を意識し、作庭家・ 重森三玲が設計した「岸和田城庭園(八陣の庭)」(写真③)は その芸術性などが評価され、国の名勝に指定されています。 岸和田城をリニューアル

令和元年に天守閣耐震診断を実施したところ、「震 度6強以上の大地震発生時、倒壊または崩落の危険 が高い」という結果になりました。近い将来、発生

が予想される南海トラフ巨大地震などに備えるため、耐震補強が必要です。また、天 守内は階段や段差が多く、全ての来場者が安心・安全に利用できる観光施設となって

今も昔も、市民に愛される岸和田城

天守焼失後、昭和初期に千亀利公園が整備されると天守再建の声が上がりました。 しかし、資金調達が難航したため、内部を図書館として利用することで国からの支 援を受けることができ、天守再建が実現しました。

現在は「お城まつり」やライトアップなどを行い、春は桜、秋はだんじりと地域 特有の素晴らしい景色を楽しむことができ、一年を通じて市民に縁のある場所とな っています。これからも市民に親しまれ、長く存在し続けることが望まれます。

期間中の土・日曜日は午後8時半まで夜間開場し、岸和田城庭園(八陣の庭) をイルミネーションで彩ります。また、恒例の青海波体験や野点・邦楽演奏、 ステージイベント、物産展とキッチンカーなどのイベントも開催します。

大阪・関西万博を見据えたイベントを、二の丸広場(岸城町)で開催します。

	イベント	日程	内容
	竹のワークショップ	4/13 (土)	笛づくり、ミニランタンづくり、筆づくり
	ステージイベント (雨天中止)	4/13 (土)· 14 (日)	「お城博士ちゃん」こと栗原響大さん(14日间のみ) やミャクミャク、ちきりくんが出演予定
	ポン菓子の実演・販売		岸和田で収穫したお米を使用。200円で販売
	こども縁日	4/14(🖰)	子ども向けの簡単なゲームなど

岸和田城再建70周年記念イベ

今年の春夏秋冬それぞれの時季に、再建70周年を記念したイベントを開催 予定です。詳しくは市ホームページなどで随時お知らせします。

